

江戸城かわら版

認定NPO法人 江戸城天守を再建する会

事業構想委員会第一回講演会

秋季号

江戸城天守・令和の築城とは

講師 三浦正幸



当会特別顧問
広島大学名誉教授
日本城郭協会評議員

七月二三日、三浦正幸・特別顧問を招いて第一回会合を開催（東京・日本橋の伊場仙ビルにて実施しZOOMでも中継）しました。

事業構想委員会
開催に当たつて

現在でも新型コロナ禍の終息が見えない状況ではあるものの、やがて到来するコロナ禍終息に備えるために、今春、事業構想委員会を発足させました。これは、これまで培ってきた江戸城天守再建に関わる事業構想において、積み残されていた課題に、会員の皆様とともに取り組むための検討会。

寛永度天守の寸分違わぬ再建はそもそもありえない

二〇一九年以來、当会は「江戸城天守・令和の築城」というフレーズを唱えてきた。その意味するところは、江戸城天守再建と言つても「寛永度天守の寸分違わぬ再建もそもそもありえない」ということ。それでは、令和の天守とはどのように築城することになるのか。

本日の第一部として天守の全容、

第二部として課題別検討ポイント

について三浦先生からお話しした

だいた。

家光が建て直した三代目天守

六三八に建て直した三代目天守

は元和度天守と同規模であつて、新築ではなく、解体して再び組み

天守の再建を延引（えいいん）すべしと

差配した保科正之の言葉

「千年（ちとせ）の松」と題する

保科正之の言行録が残されている。

江戸城天守の全容

家康が創建した慶長度天守

家康が慶長一二年（一六〇七）に創建した慶長度天守は、現在の天守台よりはるか南方に位置し、本丸の北方は二つの曲輪に分かれ、天守台は広大でその隅に寄せて建てられていたと考えられる。会津若松城のような形式だったらしい。天守本体は白漆喰の塗籠で鉛瓦葺。雪山（富士山）のようだと記されている。

秀忠が建て替えた二代目天守

二代将軍秀忠が元和八年（一六二二）に建て替えた二代目天守の大工は慶長度と同じ中井大和守正清。一階平面の規模は慶長度や寛永度と同じ。参勤交代の制度の確立が生じたため、本丸北方の二つの曲輪を本丸に併合し、天守を北方へ解体移築したもの。一部に改造が加えられたが新築ではない。

同天守を正確に復元できる。わずか四か月足らずで組み立てられたのは新築ではなかつたからだと思われる。

幕府が財政上の理由で頓挫した計画を実現させるもの

令和の天守築城は

明暦の大火により、江戸の街の大半が焼き尽くされるという未曾有の大災害に対処したのが、家光の異母弟で、四代將軍家綱の後見役となつた会津藩主保科正之である。保科正之は、江戸市街の災害復興を優先すべき課題と考えて、天守の再建を先に延ばすことを決定した。

江戸城天守は

日本の伝統と文化のシンボル、木造建築技術の最高到達点

江戸城天守を日本の伝統と文化のシンボルとして築城するために、日本の伝統的木造建築技術の発展の最高到達点にあつた江戸城天守を、日本が世界に誇る木造建築技術と世界最高の建材である檜を用いて建築する。

ただし、これから実施する築城において、寛永度天守の寸分違わぬ再建がかなわないポイントを踏まえておくため、以下の諸課題についてそれぞれ検討する。

令和4年10月10日



CONTENTS

11 108765431

江戸城天守・令和の築城とは
全国お城物語・江戸城サロン

かわら版耳より情報
イベント予定 一〇月～一二月
名城の天守②名古屋城天守その一
「和の心」を紐解く（その四）
都市空間に再生する会
事務局からのお知らせ

北の丸公園方向から見た江戸城天守CG画像



検討のポイント

(一) 寛永度天守台より一間
(約二メートル) 低い理由

(二) 万治度天守台が

寛永度天守台より一間

明暦二年(一六五七)の江戸大

火事で焼失後、天守台石垣は加賀

前田家に命じて直ちに再築させた。

ただし、天守台の高さは七間から

六間へと約二メートル低くされた。

家光が寛永度天守完成時に天守台

石垣が高すぎて本丸を囲む多門櫓

の屋根上に石垣が見えて見苦しい

と嘆いたことにより、修正された

ものである。

これは家光の思いを尊重して

天守が乗ったときに建物と台座と

の境目がそれだけ低くなるよう天

守台石垣が築かれ直されたのであ

り、より美しく完璧な天守を実現

するために行われたことであった。

現在の天守台上に天守が建てられ

たことがないことが歴史ではなく、

天守を建てるために万治度天守台

が再築されたことが本来の歴史であ

る。

(二) 天守を支える人工地盤

建物にかかる力(重力、地震の

揺れなど)は建物の重さに比例す

る。そのため、できるだけ軽い資

材を選択した方がよいものの、そ

れでも総重量を支える地盤を強化

することは必須である。

江戸時代には、地盤上に据えられた礎石で建築物を支えていた。その工法では、礎石が不同沈下(建

物の重みによつて地盤が不ぞろいに沈んだり滑り出したりする現象)

するため天守が傾く原因となる。

歴史上、不同沈下によつて傾かなかつた天守はないと言つても過言ではない。

国宝姫路城天守の解体修理では、

地下に厚いコンクリート板を設置

して天守の大荷重を支えることと

した。その他、国宝重要文化財建

築でも、コンクリート板やコンク

リート基礎(人工地盤)の設置は

常識とされている。

元和度天守を築一六年目に解体

して寛永度天守に建て直したのは

不同沈下したことが理由であつた

のかかもしれない。

(三) 外壁を耐震壁に変更

江戸時代の天守の外壁は分厚い

土壁が基本で、その表面仕上げに

白漆喰の塗籠あるいは木造黒塗り

の下見板張りを用いている。

寛永度天守の外壁仕上げは、窓

上が漆喰の塗籠、窓から下は最高

級で耐候性の高い黒い銅板張りで

あつた。

仕上げの内側の壁体内部は、不

合理的な土壁を改め、地震に対する

構造強化のために厚い木造の耐震

壁とする。壁の重量が軽くなつて

地震荷重を大きく軽減でき、構造

的な強度も圧倒的に大きくなる。

また土壁は多大な人力を要し、乾燥に長期間が掛かるが、木造の耐震壁であれば経費と施工期間の大

幅な節減が可能になる。見えないところには現代の木造技術を活用する。

他の天守におけるような急角度

天守だつたので、他の天守より大きく、良材の檜が使用されていた。

また、高層建築のため、上部階

で健康上の不具合が生じた方を緊

急搬送するためにエレベーターの

設置が不可欠であるところ、江戸

城天守には地階から最上階の五階

まで貫通するエレベーターを設置

するベースを確保できる。

江戸城天守再建に当たっては、

人工林で伐採時期を逸した老木を

有効活用する。通柱について、

それでも採取不可能なため、接柱

(集成材)とする。

(五) 防火

木造でも三〇センチ角を超える

ような木材は容易に着火せず、ま

た燃え出した場合でも材の内側ま

で燃焼が進行して強度を喪失ま

も二組目の階段を増設する必要がある。

天守内部のトイレは、構造上、

排水管等が露出するため、現状の

人工林で伐採時期を逸した老木を

有効活用する。通柱について、

それでも採取不可能なため、接柱

(集成材)とする。

(七) トイレと空調設備

天守内部の空調あるいは換気設

備については、極めて大勢の観覧

者が想定されるので、設置が必要

とを考えられる。

天守内部の空調あるいは換気設

備について、極めて大勢の観覧

者が想定されるので、設置が必要

とを考えられる。

(八) 最大収容人数(来訪者数)

姫路城天守の例では、来訪者数

が年間二〇〇万人を超える。江戸

城天守は姫路城天守と比べて床面

積が二倍以上なので、それ以上の、

少なくとも三〇〇万人の収容力が

可能である。

また、消防設備を完備するのは

当然のことであるので、火災警報

装置とスプリンクラーの設置は必

須である。

(六) 階段と昇降設備

江戸城天守の階段は、地階から

三階までは二組有しており、四階

以上は一組となる。幅は約二メー

トルあって、角度は四五度程度の

うために、南側と西側の窓は常に閉鎖しておるべきである。

(二〇) セキュリティ

江戸城天守は高層建築であり、

不特定多数の観覧者が入城するた

め、テロ行為や破壊活動に対する

セキュリティ確保が必要である。

具体的には、登閣前に危険物の所

持をしていないか検査する必要が

ある。アメリカでは、博物館や高

層ビルなどの入口では一般的に所

持品検査を行つており、江戸城天

守でも考慮すべきであろう。

(二二) 屋根を金属瓦で葺く

土を焼いて作る瓦は厚さが二セ

ンチあるゆえ一枚当たりの重量が

大きい。屋根上に少しづつずらしながら並べ重ねる際、一箇所

当たり三枚の瓦が重なつてくる。

これに対して金属瓦を使えば、厚

さを〇・四ミリから〇・五ミリと薄

くすることができる。軽量化を図れる。

寛永度天守では銅瓦を使つ

ている。

令和の天守では銅より数倍耐久

性の高いチタン瓦を使うこともで

きる。その際、さびて緑青の色に

変わつていく銅瓦がよいか、最初

に塗装した色から変化しないチタ

ン瓦がよいかという色の選択をす

ることになる。

(九) 皇居への見通し対策

他城の天守の場合では、城主が暮らす本丸御殿方向の窓を開くこ

とが禁じられていた。江戸城では、天守南側にあった本丸御殿と西側

にあつた西の丸御殿に向く窓を開くことは、將軍の登閣の際以外に

は禁じられていたと考えられる。

それに準拠して、江戸時代の天守

(事業構想委員会編)

(二二) 國際會議の会場などに使えないか

一階の大空間を使つて、國際会議場を設営することは可能だが、

トイレの設置不能だけがネックで

ある。

(事業構想委員会編)

全国お城物語

江戸城天守を再建する会が定期的に開催している「全国お城物語」オンライン講演会が高岡城で二回目を迎えました。地元の学芸員や歴史家の方々からのお話ぶりかで、お城を地元のシンボルと感じていることがうかがえます。

高岡城

(富山県高岡市)

七月九日(土) 開催

講師／田上和彦・富山県高岡市教育委員会事務局文化財保護活用課



各郭の形とともに水をたたえた堀が創建時の姿をよく保存している

、数年間過ごしただけで、一六一五年に一国一城令によつて廢城になつてしまいまし

た。

このとき、三代藩主利常による商工業支援によつて、高岡城下町の営みを維持する基盤が作られました。加賀藩が米蔵を建てて、高岡城跡を管理下に入れたこともあり、特長的な繩張り、二の丸、三の丸などの馬出郭や、水堀がほぼ完全な形で保存されています。これら状態のよさが評価され、平成二七年、国史跡に指定されました。

明治期になり廢城令の風が全国の城郭に吹き付けたため、高岡城跡の民間払い下げが一旦決定されます。しかし住民運動が後押しして、明治八年に高岡城址「高岡公園」への指定を得ることができます。このように高岡城とその城下町を支える背景には、伝統文化を保護するという、為政者や住民が代々受け継いできた歴史感があつたようです。

高岡市は富山県内で富山市に次いで二番目に人口の多い市。富山前田藩の城下町だった富山に対し、高岡は慶長二十四年(一六〇九)に、加賀前田藩二代藩主の前田利長が築城後、利長が隠居城として、高岡は慶長二十四年(一六〇九)に、加賀前田藩二代藩主の前田利

した。そのため日本有数の規模の山城と言われています。本丸・二ノ丸に三重天守や櫓がありましたが、一六八六年の雷火で焼失した後は再建されませんでした。江戸期の政務を司つていた藩庁が城山の北東側の山麓にありました。

津和野町には「津和野今昔百景図を歩く」というタイトルの日本遺産があります。「百景図」とは、最後の藩主龟井茲監(これみ)の側に仕えた栗本里治(さとはる)が藩内をめぐり、名所や風俗、食文化などを描いた百枚の絵に詳細な解説を加えてまとめた名所・伝統芸能ガイドブックです。

講演の中していくつかの古建築物やお祭りの様子を、百景図の絵と現在の写真を対比して見ることができました。ほぼ百景図に描かれたままの風景が見事に保存されていました。百景図が描かれていたころ、藩校であつた養老館で思想家・西周や、文豪・森鷗外が学んでいました。

信長・秀吉・家康の虚像と実像

七月一七日(日) 開催
講師／堀 新・共立女子大学教授



赤いポインタの位置が山城の本丸跡

「江戸城サロン」シリーズの講演会として、当会が本部を置いている千代田区に所在する共立女子大学の堀文芸学部教授から「信長・秀吉・家康の虚像と実像」と題して、七月一七日にお話をうかがいました。

講演では、信長・秀吉・家康の順で、世の中の通説と研究成果とのギャップが語られました。堀先生がこれまで研究の中で人物の虚像を明らかにしてきましたが、人物の虚像が生まれる背景には史実だと思われていることに対する虚像があります。一例として講演の最後に取り上げられた「小牧長久手の戦い」について触れました。百景図が描かれていたころ、藩校であつた養老館で思想家・西周や、文豪・森鷗外が学んでいました。

通説では小牧長久手の戦いに勝利したのは秀吉方ではなく家康・織田信雄連合軍であつたのに、政治的妥協によって講和を結ばされたと言われています。これは後に御三家の尾張藩・紀州藩らが家康の天下統一業績を顕彰する作業の中で、小牧長久手の戦いを家康方の戦勝と結論づけたことに由来しています。これによつて家康が愚直で外交下手だというイメージも作られました。

「神君家康」(大坂城天守閣発行の図録、二〇一六)の中に小牧長久手の戦いについて現在の研究の到達点と序盤の局地戦にすぎなかつた。最終的には信雄と家康が秀吉に人質を提出し、敗北をみとめるかたちで小牧合戦が収束した。その後の家康は豊臣政権下で秀吉への奉公にはげむ

このように長期的な戦いの序盤に行われた局地戦で家康方が勝利したものの、その後多くの城を落とされたのは家康方であつたし、そもそも講和が結ばれた時期は開戦からずいぶん時間が経過してからのことです。家康・信雄方からのみ人質を出す条件で講和を結んでいますから、秀吉方が勝ったのは明らかです。

徳川方としては小牧長久手の戦いも大坂の陣でも豊臣方に勝利したけれど、それには家康方についた秀吉恩顧の外様大名の戦場での貢献がありました。その後の関ヶ原合戦でも大坂の陣でも豊臣方に勝利したけれど、それには家康方についた秀吉恩顧の外様大名の戦場での貢献がありました。その後の関ヶ原合戦で方があつたからです。

なお歴史の研究では一次史料(同一時代に作成された古文書や日記など)に当たることが重要ですし、一次史料を使って二次史料(後世に作成された軍記物語、覚書など)が作り出した虚像を正すことがあります。しかし、堀先生は、数に限りのある一次史料を補い新しい視点を取り入れるために、一次史料と二次史料を相俟つて研究することを重視しているそうです。



今回家康を追加してもらい、三英傑が勢ぞろいとなった

かわら版耳より情報報

江戸城兜天丼

徳川家康にちなんだ新メニューを大妻女子大の学生が開発

大妻女子大学は千代田区から依頼に応え、令和四年四月、徳川家康が好物だった天ぷらをアレンジした「江戸城兜天丼」を区役所食堂の新メニューとして開発しました。

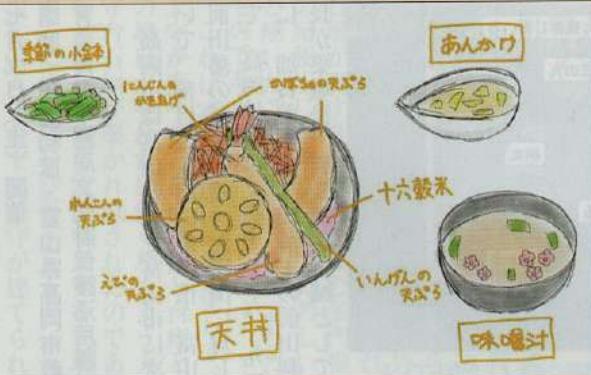
千代田区と大妻女子大学との大学連携の成果は、同大学の二名の学生によって実現されました。

江戸城に関わる地元の大学や企業の活動を「かわら版」にて紹介したい旨を伝えたところ、大妻女子大学を訪問して、開発者一人と指導教官二人と一緒にお話をうかがうことができました。

今回メニューを開発したのは、家政学部食物学科管理栄養士専攻四年の迫川麻美さんと、短期大学部家政科食物栄養専攻から社会情報学部社会情報学科環境情報学専攻に編入し今年三月に卒業した中川結絹さんです。



中川さん(左)、江戸城兜天丼イラスト
前列左から、右から追川さん、
中川さん。後列同じく堀口先生、上杉先生



は、「ほしい」との要望を受けた二人は、千代田区の特徴の一つである皇居に着目。江戸入府時に江戸城を築き、現在の皇居を含む広大な城域に拡大した徳川家康の好物であつたという天ぷらを用いた天丼を考案しました。野菜の天ぷらで兜を模した盛り付けに、別添えの餡を周囲にかけた工夫がお堀を表現しているそうです。

各地で請願署名活動実施①
丸の内KITTEの地下イベントスペースにて
請願署名集め



会場に立ち寄った方にしっかり依頼、署名していただきました。

八月一日から同一四日まで、丸の内KITTEで開催されたイベント「江戸・東海道歴史絵巻インまるのうち」(主催 東京シティアイ)に出展しました。千代田区観光協会のスペースにテーブルを設置させていただき、請願署名を実施し二二九筆集めました。初日は江澤廣理事が仮装して盛り上げてくれました。



呼び込み役を買って出て注目されました。

各地で請願署名活動実施②
第二八回 東京めじろ会にて
請願署名を募集



署名集めの準備完了



東京めじろ会の力強いご協力を感謝。中央に青木理事。

れおよそ一三〇名が参加しました。当会の青木理事がめじろ会の会長であるため、今回も署名を集める機会をいただいたところ、参加者の九割に迫る筆数を集めることができました。

千代田区から「千代田区のアピールにつながるような、区の特徴を表したメニューを考えて

九月一〇日、アートホテル日暮里にて三年ぶりに「東京めじろ会」(在京大分県人による大

OCTOBER → DECEMBER

イベント予定

一〇月から一二月にかけて屋外イベントが目白押しとなります。ジャンル別に分けず開催順にご案内します。

江戸城サロン

「江戸期学校の世界遺産登録をめざす成宣園跡(豊後の私塾)」

日時・一〇月二二三日(日)

午後二時から

会場・ZOOM使用のオンライン講座

講師・溝田直己 大分県日田市教育庁世界遺産推進室

参加費・無料

第八回江戸城寄席

日時・一〇月二八日(金)開場

一三時半／開演一四時
プログラム・落語／目黒の秋刀魚金原亭龍馬

講談／義士外伝・忠僕直助
落語／井戸の茶碗 金原亭伯楽

主催・認定NPO法人江戸城天守を再建する会

後援・千代田区
千代田区観光協会

会場・千代田区立内幸町ホール
木戸銭・会員二五〇〇円、千代田区在住・在勤・在学者二五〇円、一般三〇〇〇円

※同伴者は同額、未就学児はご遠慮ください。
申込み・認定NPO法人江戸城

第八四回岩本町・東神田ファミリー・バザール

日程・一一月二六日(土)、一月二七日(日)、一二月三日(土)、一二月四日(日)とも九時半から一七時

アkses都営

天守を再建する会事務局

第六二回神田古本まつり

日時・一〇月二八日(金)から一月三日(木・祝)まで

会場・神田神保町古書店街(靖国通り沿い歩道、神保町交差点)

当会コマ位置・神保町ブックセントラル歩道上テント

アkses・都営地下鉄、東京メトロ「神保町駅」

主催・神田古書店連盟

※当会が出展コマにて、請願署名の募集、古本まつり来場記念

「江戸城御城印」などを販売。

神田古本まつり
米場記念館城印

全国お城物語講演会

日時・一一月一六日(水)午後二時から

会場・ZOOM使用のオンライン講座

講師・宮崎博司 佐賀県立名護屋城博物館 学芸課

参加費・無料

※講師のご都合でセミナーの開催日が平日の水曜日になります。

※講師のご都合でセミナーの開催日が平日の水曜日になります。

江戸城サロン講演会

「ようこそ江戸城へ 江戸城天守再建に向けて」

日時・一二月四日(日)午後二時から

会場・ZOOM使用のオンライン講座

講師・東三郎 当会理事

参加費・無料

お城EXPO2022

日時・一二月一七日(土)九時から一八時、一二月一八日(日)九時から一七時

会場・パシフィコ横浜ノース

(神奈川県横浜市西区みなとみらい一ノ一ノ二)

※請願署名の募集、お城EXPO来場記念「江戸城御城印」販売などを実施します。

※請願署名の募集、お城EXPO来場記念「江戸城御城印」販売などを実施します。



飲酒は20歳になってから。お酒はおいしく適量を。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。 神戸・灘 菊正宗酒造株式会社

手仕事でなければ、決まらない味がある。

樽

KURO-MAMORU TAKI SAKE
MEISTER FACTORY



樽酒

菊正宗



黒田涼の江戸・東京歴史講座

家康と江戸城が築いた現代東京

第6回

武蔵野台地への江戸の発展

埋立地、低地、そして台地開発へ

この連載では、家康が用意し

た江戸の発展方向は三つあつた、と申し上げてきました。第二回で「埋め立て」という海への方向の発展をご紹介し、前回第五回で「低地開発」という隅田川以東の開発についてお話ししました。今回は残る一方向、「山の手」への発展、武蔵野台地への発展はどのように進んだかをお話します。

城郭内の土地不足解消のため寺社を外堀外へ移転

こちらへの発展の第一の契機は外堀の構築でした。一六三六年の外堀完成工事では、それまで結構内に多数あった寺社がほとんど外堀外に移転させられる

こととなります。これはすでに不足しがちだった城郭内の土地に少しでも余裕を持たせるためと思われ、この結果結構内から一部の例外を除き寺社は無く

街道を行き来する人が増えた、途中の茶屋や宿場も賑わいがあります。さらには江戸市中の人がこれら街道を使って郊外の行楽に出かけます。健脚な江戸の人たちは、現在の二三区の端ぐらいであれば、日帰りで物見遊山に出かけ、多くの行楽記が残っています。

大名地周辺の町人地設定で台地上の人口が増加

この連載では、家康が用意した江戸の発展方向は三つあつた、と申し上げてきました。第二回で「埋め立て」という海への方向の発展をご紹介し、前回第五回で「低地開発」という隅田川以東の開発についてお話ししました。今回は残る一方向、「山の手」への発展、武蔵野台地への発展はどのように進んだかをお話します。

城郭内の土地不足解消のため寺社を外堀外へ移転

こちらへの発展の第一の契機は外堀の構築でした。一六三六年の外堀完成工事では、それまで結構内に多数あった寺社がほとんど外堀外に移転させられる

こととなります。これはすでに不足しがちだった城郭内の土地に少しでも余裕を持たせるためと思われ、この結果結構内から一部の例外を除き寺社は無く

街道を行き来する人が増えた、途中の茶屋や宿場も賑わいがあります。さらには江戸市中の人がこれら街道を使って郊外の行楽に出かけます。健脚な江戸の人たちは、現在の二三区の端ぐらいであれば、日帰りで物見遊山に出かけ、多くの行楽記が残っています。

わいができました。こうして現在の新宿区や文京区あたりの都市化が進みます。

明暦大火後の大名屋敷の進出

黒田涼
作家・江戸歩き案内人



江戸から山の手方面に放射状に広がっていた多くの街道

江戸時代の郊外散策本の一つ「江戸近郊道しるべ」



今も多くの寺社が残り墓地が広がる四谷寺町

武蔵野台地は広く、住み心地のいい屋敷を作るには絶好の場所でした。その一方で台地の間の谷などジメジメした場所は寺や町人地にあてがわれます。大名屋敷は自給自足ができたわけではなく、その「世話」をする農民や町人の存在が不可欠でした。このため大名地の周辺に町人地が設定され、その人口が増えていきます。となるとよ



所沢道石碑。
練馬区下石神井の早稲田通り沿いに立つ。

都心と郊外をつなぐ街道が物流・人流を促進

そして現在の板橋区・練馬区・杉並区あたりの農民たちは、清

早稲田通り・青梅街道といった街道を使って文京区や新宿区あたりの武家屋敷に出かけ、庭の手入れや野菜などの販売をし、帰りには下肥を持って帰るようになります。

街道を行き来する人が増えた、途中の茶屋や宿場も賑わいがあります。さらには江戸市中の人がこれら街道を使って郊外の行楽に出かけます。健脚な江戸の人たちは、現在の二三区の端ぐらいであれば、日帰りで物見遊山に出かけ、多くの行楽記が残っています。

こうして江戸時代末期には、山手線の内側ぐらには江戸の街となり、郊外との行き来は日常的なものとなります。これが下地となつて、明治以降の鉄道の発達、そして関東大震災が契機となつて、東京の郊外地区・山手の爆発的発展が進むのです。



茶懷石風景



禅僧の食事風景



フレンチのテーブルマナーとして生まれたテーブルカッティング

「和の心」を紐解く（その四）

作法とマナーの違い

「作法」と「マナー」はまるで違う事であると理解しなければなりません。前回号の「和の心（その参）」でも触れましたが、日本人の考える「自己」と西欧人の考える「自我」の違いをしつかり認識しなければなりません。「自己」正に「和の心」ですが、その心に気付く為には一切の「自我」を捨て去る必要があるのです。禪僧と言えども大変難しい事ですが、禪の教えから編み出された智慧の一つが「作法」なのです。「作法」に

示される形を其の儘その通りに実践し、長く継続する事で、次第に作法の持つ奥深い叡智に気付きを得られるようになっているのです。

ための一作法

彼は日本に暮らしていた時に、茶懐石の場に居合わせました。

作法のルーツは仏教儀式

作法の根本は 禅寺の食事作法

「この作法は、禅寺の食事の作法がその根本にあり、修行僧の応量器を使った食事の作法は更に厳しい決まりがござります。禅の修行では、食事を作る事、食事を頂く事も修行と位置付けられております。

「つまり『自我』を捨て去り自己に気付く為の修行の中、食事に至るまで厳しい作法が整えられているのです。「茶道」や「茶懐石」の作法も、禅寺の食事の作法をもととし、修行同様に「和の心」を情操する為の姿形となつております。その背景に潜む心には、常に神々佛菩薩への畏怖・畏敬の念が具わつており、大宇宙の全ての生命のかかわりの中で、自らも生かされている事を大切に思う心ではないでしようか。

「このように、人が決めたルールとしてのマナーには無い奥深い叡智、普遍の真理が具わつているものが「作法」です。

そして、この「作法」は食事のみならず、私たち日本人の立ち居振る舞いとともに物事の判断の基準ともなっております。「作法」を守り「和の心」を身に付ける事で、大きな間違いを起こす事も無くなると言つても過言ではありません。

歴史に残る名城の天守

第20回「名古屋城天守」その一

三浦正幸
広島大学名誉教授
当会特別顧問

名古屋城天守の概要



導したのは、慶長度江戸城天守。駿府城四代目（実際は三代目）天守に続いて幕府御大工頭の中井正清であった。

豊臣氏に対する戦略的築城

徳川家康は慶長五年（一六〇〇）の関ヶ原の戦いで勝利したことは、徳川本隊を率いてきた嫡子秀忠が関ヶ原に遅参したため、大坂以西の西日本で得た広大な没収領地を東軍に与した豊臣系外様大名衆に論功行賞として総て分け与えるはめになつた。徳川本隊が不在の中、東軍に属した外様大名の働きで石田三成の西軍を討ち破つたが、東軍勝利の知られざる理由の一つは、東軍主力の外様大名衆は秀吉が東海・甲信に配置していた、當時最も戦略的、好戦的な武闘派の大名だったからであろう。豊臣打倒の目的で家康が大軍を率いて江戸から京や大坂へ向かうのを軍事的に阻止し、家康を関東に封じ込めるのが、秀吉の意図だったようだ。

慶長十五年（一六一〇）六月三日に名古屋城の石垣普請が着工された。仮想敵である豊臣系

外様大名の群雄割拠する地となり、彼らは豊臣流の築城術である石垣と天守を備えた豪壮な城を次々に築いていった。来る大坂城の豊臣秀頼との最終決戦を前に、西日本の豊臣系外様大名衆が秀頼を担いで大挙して江戸攻略を企てるのを阻止するため、新たに築かれたのが名古屋城であつた。したがつて名古屋城は、大坂城をはるかに凌駕する空前の堅城として築かれ、外様大名衆が家康に歯向かう気力を全く失せさせるような戦略的效果が期待されるいわば戦略核兵器のような城で、その天守は豊臣大坂城や外様大名衆の天守と比べ、体積が三倍を超える規模であった。

外様大名二十家を動員した公儀普請（天下普請）で実施され、早くも八月二十七日に加藤清正が天守台石垣を完成させた。仮想敵の大名衆を動員したのは、敵に戦略兵器の超絶性を見せつけて怯えさせるためである。

初例は藤堂高虎が建てた慶長九年頃の今治城天守であり、次いで慶長十二年に家康が建てた駿府城天守があるが、それらは天守台の石垣上ではなく、平地に建てられていた。

一階平面と二階平面を同大に造り、三階から上を遞減させており、その点では姫路城や松江城の天守と同様であつて、望楼型天守の特徴をまだ残している。そのため、千鳥破風の配置

昭和二十年（一九四五）五月に米軍の空襲で戦災焼失した旧国宝名古屋城天守は、五重五階、地下一階の新鋭の層塔型であつた。慶長十三年の姫路城天守や同十六年までに完成した松江城天守は旧式の望楼型天守であつて、高い天守台石垣上に直接に建てられた大型天守としては、名古屋城は層塔型天守の最初期のものと言える。層塔型天守の

向け（二重目の妻壁は側面に向く）、最上重は屋根の向きを九〇度変えて妻壁を正面に向けれる。層塔型天守では途中で屋根の向きを変えられないで、一階の妻側を正面に向けておかねばならない。それでは天守が小さく見えるので、他城ではあまり行われない。

壇である。大小天守を並べて建て、両者を渡櫓で結ぶ形式を連結式という。松本城天守と乾小天守は渡櫓で繋がれた連結式であるが、名古屋城では渡櫓を設げず土壇で代替している。これは小天守の火災が天守に及ぶのを防ぐ工夫であって、連結式の進化した形式である。

将軍家の天守の驚異的な規模

名古屋城天守の柱間寸法は七

尺(約二・一二メートル)の大

京間が使われている。七尺間の

天守は天下人の天守に限られ、信長の安土城天主に始まり、豊臣大坂城天守もおそらく七尺間であつて、家康の名古屋城、家光の江戸城などに採用されてい

る。

一階平面は、七尺間で平(南北)十七間、妻(東西)十五間であつて、一一四七坪、豊臣大坂城天守の一・九倍もの床面積をもつ。史上最大だった江戸城天守の十八間に十六間に次ぎ、徳川大坂城天守と同大の史上二位の規模である。名古屋城天守は一階と二階が同大だったの

で、延べ床面積は江戸城天守を越えて四四三五坪にも達し、史上最大面積の天守だった。

高さについては、天守台石垣が一九・五メートル、天守本体が三六・一メートル、総高五五・六メートルである。後の寛永度江戸城天守の総高五八・六メートルには及ばず、徳川大坂城天守に次いで史上三位である。江戸城と徳川大坂城天守が細身であったのに對し、名古屋城は重厚であつた。

天守台の構造

大小天守ともに台座の石垣内

に地階(穴蔵)を設けて、そこ

を入り口とする。天守へ至るに

は、コの字形に折れ曲がる小天

守の地階を通らねばならず、そ

の地階通路の入り口に口御門、

出口に奥御門がある。狭い橋台

を通つて天守地階入り口の口御

門を抜けたところが小さな枠形

になつてあり、その奥に奥御門

があつて、二つの城門からなる

一種の枠形門を構成する。この

天守への経路は史上で最堅固で

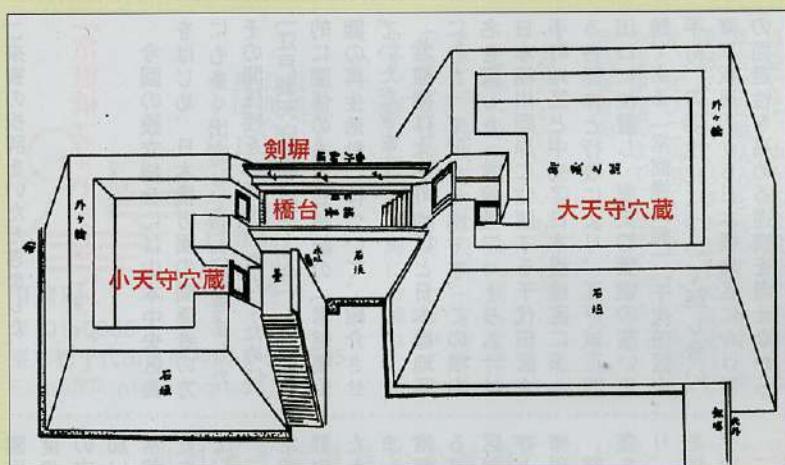
あり、類を見ない。もちろん、

天守地階の枠形は史上唯一であ

る。

この大小天守台の地階の構造は、慶長十二年の駿府城天守台を原型とする。駿府城天守台は巨大であつて、その内部の平地に六重七階の天守が建てられていた。その天守台を小型化し、天守台入り口にあつた城門枠形を天守地階に取り込んで天守の地階入り口とした。小天守台については、駿府城小天守台ほどのままの形状が採用されている。

名古屋城大小天守台の見取り図(金城温古録)



虎ノ門市場
毎日、幸せごはん。

月～金曜日
午前11時00分・夕方17時10分

テレビ東京・BSテレ東 毎月1回スペシャル番組を放送中! <https://www.toranomon-ichiba.com/>

江戸城天守を再建する会 入会案内



364年前に焼失した江戸城天守を、東京のシンボルとして甦らせたい。そんな思いを共有する人たちが集うNPO法人です。2006年NPO法人設立。当会主催の各種イベントや講演会のご案内をするほか、会報「かわら版」(年4回)をお届けします。

会長：太田賀暁（太田道灌公18代子孫）
理事長：島田昌幸（テレビ東京特別顧問）
年会費：正会員（個人）10,000円
正会員（法人）100,000円
賛助会員（個人）3,000円
賛助会員（法人）50,000円

※法人の賛助会員の年会費を改定しました。

入会手続（以下の方法でご会費を入金ください）
1 ホームページ（クレジットカード）
2 ゆうちょ銀行・払込取扱票
▶詳しくは当会事務局へお問合せください。

当会は本年度より天守再建への「賛同署名」を、衆参両院議長宛ての「請願署名」活動に切り替えていこうことを三月の理事会で決定しました。前号（夏号）巻頭ページで、その主旨と経緯を島田理事長が報告しています。

今まで以上に会員全員のご協力が必要です。会員の皆様には、「家族、ご友人の皆様にもこの主旨を説明し、請願署名にご協力くださるようお願いしてください。

新規会員の勧誘にご協力を

当会の活動は主として正会員、賛助会員の会費によって運営されています。会員お一人一人が新規会員勧

事務局からのお知らせ

【請願署名】にご協力ください



説明にご協力ください。

認定NPO法人に認定された当会への寄付金は税の控除が受けられます。どうぞ、優遇措置を利用してご寄付にご協力ください。

月に次年度の「会費納入のお願い」をお送りしています。ご協力のほどお願い申し上げます。

ント等の情報をお届けします。

会費納入法

年会費納入法



年会費カード決済

会費納入や寄付金の決済は、クレジットカードにも対応しています。ぜひご利用ください。詳細は当会のホームページで「寄付」の欄をご覧ください。

住所変更届けのお願い

ご住所・電話番号などが変更した場合、ファックスや電話で早めにご連絡ください。会からのお知らせが届かないかもしれません。

メールアドレス登録のお願い

メールアドレスをお持ちの方は事務局にメールをお送りください。イベ

トによる継続会員のお支払いはこちらからお手続きください。
◆年会費自動払込（ゆうちょ銀行）
当会では、ゆうちょ銀行口座からの年会費自動払込を行っています。郵便局に出向く必要がなく大変便利です。ぜひご利用ください。「希望の方は事務局までご連絡ください。

申込書をお

「かわら版」への広告募集

本誌への広告は、法人個人を問いません。名刺広告は税別一万円、その他広告は税別三万円（となつてます。詳しくは事務局にお尋ねください）。

※「かわら版」への

投稿・提案
お問合せは、事務局宛て
郵便・FAXまたは
メールにてお願いします。



事務局
〒101-0065
東京都千代田区西神田2-5-7-505
E-mail=info@npo-edojo.org



NSSO 日総工産株式会社



環境とDXをビジネスの力に変え、

未来のライフスタイルを描く。

再生可能エネルギーの取り組みも、

デジタルを活かした感動体験も、

地域に愛されるまちづくりも。

すべては一人ひとりの

ウェルビーイングのために。

私たちはグループが展開する

多様なグリーンの力を融合させ、

新しい価値を創造し続けます。

誰もが
自分らしく
輝ける
未来へ



WE
ARE

GREEN



当社グループは、「中期経営計画2025」「環境経営レポート」「DXレポート」を発表しました。長期ビジョン「GROUP VISION 2030」に基づき、
国内事業会社で最速となるRE100の達成[※]や、ZEB/ZEHの100%導入、OMO推進などの目標に取り組みます。



※業界に先駆けて再生可能エネルギー発電事業に取り組んできた東急不動産は、当初の目標を前倒して2022年のRE100達成をめざします。

東急不動産ホールディングス

東急不動産 | 東急コミュニティー | 東急リバブル | 東急住宅リース | 学生情報センター



江戸城かわら版 秋季号 Vol.65 令和4(2022)年10月10日発行 発行所/認定NPO法人江戸城天守を再建する会
発行人/島田昌幸 〒101-0065 東京都千代田区西神田2-5-7-505 TEL.03-6423-1882 FAX.03-6423-1897
Mail=info@npo-edojo.org URL=https://npo-edojo.org/ Facebook=https://facebook.com/npoedojo/